

## 令和 7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### クロアワビ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構水産技術研究所沿岸生態システム部、千葉県水産総合研究センター、東京都島しょ農林水産総合センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場、三重県水産研究所、和歌山県水産試験場、徳島県立農林水産総合技術支援センター、大分県農林水産研究指導センター、宮崎県水産試験場、全国豊かな海づくり推進協会
------	---------	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_222.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_222.pdf)）、次回令和 8 年度を予定

#### (1) 調査の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機構は生態学的特性に関する文献情報および漁業関連情報の収集を実施</li> <li>・ 全国豊かな海づくり推進協会は県別放流数の集計を実施</li> <li>・ 各都県は漁場別漁獲状況調査、漁獲情報収集、生物情報収集調査を実施</li> <li>・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施</li> </ul>
---

#### (2) データ収集状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県では 1992 年～2024 年の主要漁場別漁獲量および CPUE を収集済み 2025 年以降の漁獲量を収集中 2015 年～2024 年度の県独自の資源評価結果を収集済み</li> <li>・ 東京都では 1952 年～2023 年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の主要漁場別漁獲量を収集済み 2024 年以降の漁獲量を収集中</li> <li>・ 神奈川県では 2015 年～2024 年の主要漁場別漁獲量を収集済み 2025 年以降の漁獲量を収集中 2016 年～2024 年の県独自のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の資源評価結果を収集済み</li> <li>・ 静岡県では 2001 年～2023 年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の漁獲量を収集済み 2024 年以降の漁獲量を収集中</li> <li>・ 三重県では 1994 年～2009 年、2016 年～2024 年の主要漁場別漁獲量を収集済み 2025 年以降の漁獲量を収集中</li> </ul>
---

2022年度の県独自の資源評価結果を収集済み

- ・和歌山県では2016年～2024年の主要漁場別漁獲量を収集済み

2025年以降の漁獲量を収集中

- ・徳島県では1999年～2024年の主要漁場別漁獲量およびCPUEを収集済み

2025年以降の漁獲量を収集中

- ・大分県では1957年～2023年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビ、トコブシを含む）の漁獲量を収集済み

2024年以降の漁獲量を収集中

- ・宮崎県では2020年～2024年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の漁獲量を収集済み

2025年以降の漁獲量を収集中

### (3) 生物学的特性

(1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_222.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_222.pdf)）

(2) 年齢・成長：同上

(3) 成熟・産卵：同上

(4) 被捕食関係：同上

### (4) 備考

- ・都県によりデータの集計方法が異なる（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビがあわび類として合算等）ため、クロアワビの漁獲量の算定や資源動向の把握が困難